

2022年11月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

菊正宗酒造株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、菊正宗酒造株式会社（代表取締役社長：嘉納 治郎右衛門）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、菊正宗酒造株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 地域との協働による、水、米、杉の持続可能なサプライチェーンの維持・構築

目標 15 陸の豊かさも 守ろう	15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。
目標 8 働きがいも 経済成長も	8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。

② 米ぬかや酒粕の有効利用や、容器包装における環境負荷低減の取組み

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



杉樽づくりの技術継承と後継者育成に取り組んでいます



豊かな水資源を引き継いでいけるよう、森の保全に協力しています



栄養価の高い酒粕を有効活用した食品やサプリメントを開発しています

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上